

事務事業 No./名称	□サービス部門 経企-05 事務管理事務 ■支援部門									
主管課	行革推進課	関連課	全課							
分野名	行財政運営									
目標 (目標値)	組織の効率的運営、組織の合理化									
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考					
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
運営資源状況	事業の対象者数									
	決算値(千円)	1,187	1,227	1,265						
	(国・県)									
	(負担金等)		699							
	(一般財源)	1,187	528	1,265						
	人員配置数	2.0	2.5	2.5						
	人件費(千円)	15,816	21,807	21,625						
事務事業運営経費	協働のパートナー									
	総事業費(千円)	17,003	23,034	22,890						
	市民1人当りの経費(円)	96	130	129						
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	鎌倉市	大和市	厚木市	小田原市	秦野市	座間市	海老名市		
	人口千人あたりの	7.29	5.55	6.93	6.29	6.01	5.72	5.80		
	職員数(平成24年4月1日現在・普通会計)									
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
職員数の適正化(各年度4月1日時点)	○	目標値	1,424人	-	1,354人	1,327人	1,276人			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	1,428人	1,379人	1,348人	1,339人				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
事務管理事務	136千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	職員の定数管理、執務室の配置などの事務管理			
事務改善事務	1,051千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 △ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	職員提案制度などを活用した事務改善			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	適正化計画に登録済の適正化手法に加え、新たな手法を検討し、職員数のさらなる削減を目指す。また、職員提案制度を見直し、事務改善に取り組む。		
課題解決のための取組	第3次職員数適正化計画の進行管理を適切に行い、平成24年度中に職員9名の削減を行った。職員提案制度において、一部一提案の応募を募り職員の事務改善への意欲を引き出した。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	再任用義務化により職員数削減に影響がでることが想定され、目標を達成するためには、新たな取り組みが必要となる。また、職員提案制度については、提案実施指示書が送付された案件について実現化へ向けた取組みを進める。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		第3次職員数適正化計画の着実な実現に向けた進行管理を図るとともに、再任用義務化による影響を勘案した上で、適正化計画の見直しに取り組みます。また、職員提案制度を見直し、事務改善に取り組みます。	↓
③有効性 ○		B			行革推進課長
④公平性 ○					中野 達夫

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
事務管理事務	主な個別事業	263 定期刊行物(地方行政)	67	67	○	○	○	○
		263 定期刊行物(ガバナンス)	10	10	○	○	○	○
		263 文具類等	59	59	○	○	○	○
事務改善事務	主な個別事業	264 事務補助嘱託員報酬	1,029	942	○	○	○	○
		264 職員提案褒賞	50	49	○	○	○	○
		264 事務補助嘱託員旅費	22	60	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							